
- ある哲学者の日記より -

hispanic

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

- ある哲学者の日記より -

【Nコード】

N0838P

【作者名】

h i s p a n i c

【あらすじ】

狂人として、異端として蔑まれた一人の哲学者。
彼の日記が発見された。
その内容とは・・・

（前書き）

初投稿です。

思いのたけを叩きつけただけです。

これを見て何を感じたか・・・

それを突き詰めて考えてもらいたいと思います。

11月23日 曇天

一人の人間の人格に、一つだけの人格が入っているという確証がどこにあるのか。

そんな私の仮説は、誰に話しても馬鹿にされて終わる。

・・・私は間違っているのだろうか？

みんな、入れ物のことだけ考えて中身を考えてないじゃないか。

二つ、三つ、いやそれ以上・・・

それだけの人格が混ざり合って一人の人間の「人格」を作っているのじゃないか？

・・・それは本当に私の考えか？

・・・私の中に何人の「わたし」がいるのだ？

どうしてみんな私を否定するのだ・・・

哲学なんて所詮妄想を他人に押し付けてるだけじゃないか。

認識なんて、思い込みと同等の存在じゃないか。

・・・どうして私だけが、否定され続けないといけないのだ。

みんな私を狂人などと蔑む。

・・・だれでもいいから、何か証明してくれ。

・・・私はもう、意味なく蔑まれるのはいやだ。

・・・誰か私を助けてくれ。

それがだめならいつそ・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0838p/>

- ある哲学者の日記より -

2010年12月25日18時02分発行